



3年生・モデルハウス見学

て講義を  
内容につい  
理局の業務  
四国森林管

明を受けました。  
二年生の実習箇所は、

高知県香美市物部町の国  
護林の見学を予定してい  
ます。

て、また、  
現状につい  
林・林業の  
序案内、森

材利用の重要性、木材  
の利点・欠点を十分理解  
し利用することが重要で  
あることなどについて説  
明を受けました。

今年については、三年  
生は、秋に高知県高岡郡  
中土佐町の林道新設工事  
の見学を予定しています。  
また、一年生も、秋に

対象に「入  
材・林業の  
現況につい  
て、また、

域の林業の取組として、  
講師の嶺北木材協同組合  
理事長に、間伐された森  
林、木材市場、木材加工  
施設、れいほくスケルト  
ンモデルハウスを案内し  
ていただき、森林整備と

治山現場では、山腹崩  
壊の現況を見て、急峻な  
地形、もろい地盤を肌で  
感じ、治山事業の意義・  
必要性を痛感したよう  
でした。

ラムとして  
位置付けら  
れており、  
六月一七日  
に二年生を

木材流通では、嶺北地  
域の林業の取組として、  
講師の嶺北木材協同組合  
理事長に、間伐された森  
林、木材市場、木材加工  
施設、れいほくスケルト  
ンモデルハウスを案内し  
ていただき、森林整備と

今年については、三年  
生は、秋に高知県高岡郡  
中土佐町の林道新設工事  
の見学を予定しています。  
また、一年生も、秋に

四国森林管理局では、高  
知県立高知農業高等学校森  
林総合科の全学年を対象に  
この森林環境教育に取  
り組  
んでい  
ます。  
森  
林  
総  
合  
科  
の  
カ  
リ  
キ  
ュ  
の  
力  
を  
使  
い  
て  
、  
森  
林  
環  
境  
教  
育  
に  
取  
り  
組  
んで  
い  
ま  
す。

三年生は、木材流通を  
テーマとして、嶺北森林  
管理署管内の高知県土佐  
町、本山町で実習を行  
いました。

今回の学習の中で、生  
徒達は、木材流通では、  
間伐された森林や、れい  
ほくスケルトンモデルハ  
ウスを見学し「間伐の重  
要性及び木造建築の素晴  
らしさ」を印象深  
くした。

# 高校生現場見学

## 高校生を対象にした 森林環境教育を実施

〈総務課・治山課・指導普及課〉



2年生・業務内容の講義

今年については、三年  
生は、秋に高知県高岡郡  
中土佐町の林道新設工事  
の見学を予定しています。  
また、一年生も、秋に

# 各地のたより



## 松野西小学校森林教室

〈ふれあいセンター〉

### 第二回

〈空飛ぶ種子に歓声〉



お母さんと一緒になって

六月八日、松野町立松野西小学校の四年生二一名を対象に、一二名の保護者も参加して森林教室を行いました。第二回目となる今回は、種子の特徴や植物が様々な工夫を

して種子を散布していることを学習し、自然環境への興味・関心を育もうとするものです。

最初にスライドで、植物は子孫を残すため「風を利用する」、「動物を利用する」、「水を利用する」、「自分の力ではじき飛ばす、転がる」など、様々な工夫を凝らしていることを学習しました。特に職員手作りの風洞装置を利用したイロハモミジの

種子の空中浮遊には、児童だけでなく保護者からも大歓声が上がっていました。

その後、保護者も一緒になってアルソミトラ、ニワウルシ、マツなどの種子の模型を作り飛ぶ様子を確認しました。最後は

体育館に集まり、ラワン種子の模型の飛ばしみんなで競い合いました。大歓声の中、最も高く飛ばした児童と保護者代表の対決は、大差で児童に軍配が上がりました。

今回の森林教室には、保護者の方も参加され、今後は、親子で森林・林業について関心を持つてもらいたい機会になったことだと思えます。

### 第二回

〈手作りの木のクラフト〉

六月二二日、四年生を対象に第三回目の森林教室を行いました。

今回は木のクラフトを作ります。

まず、木材の特徴である木材は軽くて丈夫なことや加工しやすいこと、きちんと手入れをすれば千年以上の耐久性のある建物で

きるなどについて説明を行いました。

続いて、児童がヤマザクラの枝を使ってクラフトづくりに挑戦しました。

最初は慣れないノコギリでの作業に苦労していた児童も、ひとつ作品ができあがると、家族にもプレゼントしたいと取り組み、ひとりでいくつもの作品を作っていました。

また、木目や樹皮をうまく使って作品をつくる児童もおり、手軽に自分のオリジナル作品ができることで夢中で取り組み、



ノコギリに悪戦苦闘

当初の予定より一時限延長するほどの熱の入れようでした。

木の持つぬくもりと、素材としての木材の良さについて十分に感じてもらえたものと思います。

今回は、地元あいテレビの取材もあり、夕方のニュースで取り上げられました。

## 文化財指定候補地の

測量を行う

〈オオヤマレンゲの群生地〉

〈徳島森林管理署〉

六月二九日、三好市から文化財指定の同意申請があった三嶺国有林で、オオヤマレンゲの群生地の区域画定と測量を行いました。

オオヤマレンゲは、徳島県では絶滅危惧Ⅱ種に指定されている希少なモクレン科の落葉低木で、その清楚

平成二三年一月には三好市から文化財指定の同意申請があり、この区域の画定と面積計算に必要な測量を行ったものです。当日は、三好市文化財課三名、剣山クラブ四名、当署から六名が参加しまし



「天女の花」オオヤマレンゲ

な花は「天女の花」と呼ばれています。また、この群生地は、平成一八年にNPO 剣山クラブが発見しましたが、シカの食害が激しいため、平成二一年から当署とボランティアが協力して樹木ガードの設置を行ってきました。



測量作業中

たが、この群生地は剣山と三嶺を結ぶ稜線にあるため、奥祖谷二重かずら橋から約三時間をかけて測量器具や資材を運び上げ、作業を行いました。この結果、文化財指定候補地の区域が画定され、面積についても算出することができました。また、樹木ガードの効果により、昨年同様、健全なオオヤマレンゲの開花を確認することができました。

当署としては、国民共通の財産である国有林の適切な管理や生物多様性の確保の観点から、地元自治体やNPOなどからの要望には積極的に応えていきたいと考えています。

六月二五日、高松市屋島国有林にある「遊々の森」ドキドキわくわくコースにおいて、屋島東小学校三、四年生の児童四名を対象とした森林教室を実施しました。

〈香川森林管理事務所〉

「遊々の森」で  
森林教室



ペットボトルの実験

今回は、三年生には、下草刈り、遊具遊び及び樹木観察を、四年生には下草刈り、遊具遊び及びペットボトル実験を学習・体験してもらいました。三年生の樹木観察では、遊々の森に生育しているヒノキ、アラカシ、ヒサ

カシなどを見て、①低木か、高木か、②針葉樹か、広葉樹か、③常緑樹か、落葉樹かのどちらに分類されるのかについて学習しました。児童たちは、「針葉樹ってこれ?」、「これは落葉樹や!」と、友達同士話し合いながら、それぞれの違いを学びました。

の土が余り水を通さないのに対して、遊々の森の土は水をゆっくりと通すのを目の当たりにして、「運動場の土は全然水を通さん」、「なんで?」と興味津々でした。

また、先輩たちが植えたクヌギ林の下草刈りでは、藪に入ったり鎌を使うのが初体験の児童もいて、最初はおそろおそろ行っていました。最後にはきれいに下草を刈ることができました。

四年生のペットボトル実験では、遊々の森の土と運動場の土の水の浸透具合の違いを比較しました。児童たちは、運動場の土が余り水を通さないのに対して、遊々の森の土は水をゆっくりと通すのを目の当たりにして、「運動場の土は全然水を通さん」、「なんで?」と興味津々でした。

最後に、遊々の森に設置されたブランコやハンモックなどの遊具で遊びました。小学生らしく元気いっぱいでした。

今回の三、四年生は森林教室への参加が初めてで、この学習・体験が森林や環境について考えるきっかけになってくれればと考えています。